

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:平成30年12月12日

事業所名: 通園(デイサービス)事業 おれんじくらぶ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3		1	個別室として1室しかなく不便ではあるが、パーテーションにより活動や人数に合わせた使用を工夫している。特に相談時には、プライバシーが守られるように注意している。	10	4	1		・クリスマス会などのイベントの時は他の会場を借りればと思う。 ・個別の部屋が、一つしかない。 仕切りだけでは不十分である。	指導訓練室等スペースの拡大には、相当の費用が発生するため、すぐには対応できないが、今後も引き続き、パーテーションにより活動や人数に合わせた使用、また、プライバシーの確保に努めていきたい。大きいイベント時の会場については積極的に検討したい。
	2 職員の適切な配置	4			療育内容からすると最低限の人数は確保できているが、保護者に職員数によって希望通り利用できないと感じさせてしまわないような内容に努めたい。	12	3			・専門性はバツグン。 ・療育を受けたい子どもの数に比べて職員の数が少ないので、思うように療育が受けられない。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備			4	玄関はスロープになっているものの個別質やトイレへの車いすでの入室は難しい広さであるため、安全に十分に配慮したい。	13	2			・手すりの設置はされていないと思う。	現状において、施設改修について現実的でないため、職員の配慮等により適切に対応したいと考えます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保				アンケート未実施					アンケート未実施	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2		2	現在十分とはいえないため、日々ミーティングの時間を確保し、互いに意識しあって実践に努めたい。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			4	実施できていないが必要性を感じている。						今後は第三者による外部評価を検討したい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	4			内部研修の実施や外部研修への参加に加え、町内の有識者等による定期的な研修もお願いしたいと考えている。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	1	4			行っているが、相談員や学校や保育所等関係機関の情報も十分に得ながら、よりニーズに添える計画を作成する。	13	2				
	2				アンケート未実施					アンケート未実施	
	3	4			個別療育を中心に実施しているが、集団活動についてはニーズを確認し検討していく。						
適切な支援の提供（続き）	4	4								アンケート未実施	
	5	4									
	6	4				12	3				
	7	4			それぞれに対応した取り組みを意識しているが、より計画性をもって取り組む必要性を感じる。						
	8		4		打ち合わせをすることを意識しているもの、実際欠かしていることも多いため、再度、認識する。						職員間での評価を参考に改善していきたい。
	9	4			できるだけ行っているが、不足していることは多く、より意識していく必要がある。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
	10		4		記録は欠かさないが、その時間を確保することが難しい。円滑に業務が進むよう個々に意識を高めるとともに、協力し合って効果的な方法を考えたい。						職員間での評価を参考に改善していきたい。
	11				アンケート未実施						
関係機関との連携	1		4		児童発達支援管理者が出席している。						
	2				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						
関係機関との連携	3				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						
	4			4	必要性を感じる。 就学相談や就学前検査の時に情報の共有は行っている。 相互理解の部分で、情報の提供・共有に留まっているところもあり、支援が継続されるよう関係づくりをしていきたい。						
	5			4	地元の学校を卒業するとそのあとの関係機関との関係性が薄れることのほうが多いため、今のところ何か手立てとして検討していることもない。また、これまでに情報の提供を求められることもなかったが、これお事態が問題で必要性はあると考えてはいる。						今後においては、保護者、町担当課との連携を強化し、他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行ができるよう情報提供を行っていきたいと考える。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
携 (続 き)	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4			療育支援事業の利用により、研修の機会を設けていることを継続させてもらいたい。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4			年に2回の芋栽培の案内をし、一緒におこなっていることと、活動の一つとして、児童館に遊びに行くことを取り入れている程度であるため、その機会をすこしずつ増やしていきたい。が、中には交流を希望しない利用時や保護者もいるようなので、個々に応じて対応したい。	2	8	5		・行事では交流があるが、行事がないときも交流があればいいと思う。 ・障害のない子との交流を希望していません。 ・児童クラブも役場の方で、肢体不自由なので利用を断られたかもしれません。 ・そこまでは求めていません。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		4		行事にはボランティアとして参加していただくことが多いが、今後活動の講師としての参加をおねがいすることも考えたい。						今後、活動の講師としての参加依頼等検討を行いたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明		4		説明不足であるため、わかりやすい説明を心がけたい。	14	1				職員間では、「どちらともいえない」という意見が占めたが、保護者アンケートでは概ね満足している結果が得られている。今後においても、わかりやすい説明を心掛けたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明				アンケート未実施					アンケート未実施	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	4			ペアレントトレーニングではないが、その手法を参考にした講座に町の取り組みとして参加させてもらっている。近い将来には、事業所内で実践していきたい。					アンケート未実施	
保護者への説明責任・連携支援	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4			送迎はしていないため、利用時に情報を伝え合うことができていない。必要に応じて電話連絡などにより状況確認を行う。	14	1				
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		4		実際には、相談をしやすい人もいれば、そうでない方もいらっしゃると思われるが、できるだけ相談しやすい環境を意識していきたい。助言を求められる方があれば、聞いてもらうだけでよい方もおられ、その見極めをしながら対応したい。	12	3			・困っていることを相談すると親身になって話を聞いてもらって助かっています。 ・具体的な助言をしてもらったほうが、ありがたい。	約8割の保護者が「はい」と回答している。今後も保護者一人一人に、丁寧な助言を行って行きたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	4			行事の時のみに活動することは多くなっているため、事業所の方で保護者が集まる機会を提供していきたい。	11	3	1		・ほとんど顔を会わす機会がない。 ・学校や地区が同じなら、きっかけになりやすい。 ・支援されていますが、保護者の方も忙しいようで、連携はないように思えます。	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4			苦情に対する体制をとっているつもりであったが、保護者には、把握してもらえていないようなので、周知の必要がある。	10	5			・よくわかりません。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
支援 (続き)	8			4	配慮はしているが、不十分なことも多くあるため、その都度気を付けたい。	13	2			・障がいの程度にもよる。	今後も保護者一人一人に、丁寧に意思の疎通等図っていきたい。
	9			4	会報等の発行はしておらず定期的にはしておらず、年に1回の保護者の文集としての発行はしている。 行事等については大きなものは発信しているが、もっとわかりやすく必要な情報についての発信が必要だと思われる。	6	7	2		・スタッフが少なくて大変そう。でも、短い時間で講演会のお知らせなどがあり、助かっている。 ・会報やホームページはない。 ・会報やホームページではないが、プリントや口頭で伝わっている。	今後はホームページの活用等検討していきたい。
	10			4		13	2				
非常時等の 対応	1			4	できていないものあり、準備をする。また、保護者への周知も不足しているようなので、再度確認する。	4	8	7			緊急時対応マニュアル等、早急に検討、整備を行い。職員や保護者へ周知徹底を図りたい。
	2			4	併設の同法人の保育所が行う時に月1回程度実施している。また、保護者には、把握していただけるように努めたい。	4	10	1		・参加できていないのでわかりません。 ・訓練をしているのかどうかわからない。	
非常時等の 対応 (続き)	3			4	外部研修に参加できないときは、内部で依頼し研修できるようにする。						
	4			4	組織的な決定も保護者への説明もできていないため、実施の必要がある。						組織的な決定も保護者への説明もできていないため、実施を検討していきたい。
	5			4	食事の提供を行っていないため、対応していない。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		4		<p>アクシデント、ヒヤリハットについては記録を取るようにはしているものの、それについての振り返りが不足しているため、事故につながらないようにしっかりと活用していきたい。</p>						<p>職員間での共有を徹底していきたい。</p>